



7・16 十万人大デモで
再稼働を阻止しよう!!

東京新聞
夕刊
●中日新聞東京本社
東京市世田谷区北沢2-1-1 4F
〒158-8505 電話 03(5561)2211
FAX 03(5561)2212

雨宮商事株式会社
新西口
141 雨宮ビル
電話 03-3342-0141

紙面から
麻原死刑囚の写真所
ゲート・威嚇で集う世界
人は全知全能と思つて上

首相「安全」裏打ちなき強行

関電が午後準備着手

「撤回しろ」
政府の再稼働決定を批判するデモ隊。東京市世田谷区北沢で開かれたデモの模様。

大飯再稼働を決定

「責任」の名借りた愚挙

野田首相は、大飯原発3、4号機の再稼働を決定した。これは、福島原発事故の教訓を踏まえず、国民の安全を軽視する愚挙である。再稼働は、福島原発事故の教訓を踏まえず、国民の安全を軽視する愚挙である。再稼働は、福島原発事故の教訓を踏まえず、国民の安全を軽視する愚挙である。

野田政権の暴挙を報じる6月16日「東京新聞」朝刊。5層

野田政権は16日、ついに大飯原発3、4号機の再稼働決定を宣言しました！ 福島県民をはじめ、日本中で圧倒的多数の人々が「再稼働反対！」「原発はいらない」と声をあげているにもかかわらず、野田は「国民生活を守るため」(!?)などと称して再稼働を強行し、7月中旬にも営業運転を再開させようしているのです。絶対に許せません！

その前日の15日には、緊急の呼びかけに応じてなんと1万1千人もの人々が首相官邸前に集まり、怒りの抗議行動を行いました。さらに17日、大飯原発のある地元・福井でも再稼働反対の大集会が行われ、2200人が結集しました。誰一人、野田の言うことに納得する者などなく、闘いの炎はますます燃え広がっています。

何よりも、怒りに燃えているのは福島の人々です。「口先だけの安全で再稼働を急ぐ暴挙は、今も苦しんでいる福島県民の傷に塩を塗るものだ！」(7日に福島の女性たちが経産省に対して行った要請内容)。この福島の命の叫びを野田は「精神論だ」などと罵倒し、再稼働を決定したのです。福島を切り捨てて、何が「国民生活を守る」だ！

しかし、野田の再稼働宣言は、燃え上がる怒りと闘いの炎に油を注ぐものでしかありません。闘いはいよいよ正念

野田の再稼働宣言、福島母親は許さない！

佐藤幸子さん(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク)

7日に野田首相への要望書を持って、福島の女たちで内閣府に行ってきました。再稼働に対してもう許せないという思いで、おおい町にも行ってきました。福井県庁にも行ってきました。弾丸ツアーで行ってきたんです。申し入れをしに。にもかかわらず再稼働です。

8日の野田首相の発言を聞いて、もう本当に、野田首相の顔が悪党にしか見えませんでした。本当にあの野田首相を引きずり降ろさなければ子どもたちは守れない！そう思いました(6・10国鉄闘争全国集会の発言より)。

場です。この6～7月が勝負です。大飯の営業運転再開は7月中旬と言われているますが、7月16日には、東京・代々木公園にて、史上空前の規模となる「反原発10万人集会」が呼びかけられています。まさに天下分け目の決戦です！

大学キャンパスから仲間を連れて、7・16大集会にみんなが集まろう！

京都大学で全学自治会再建！

日本中が野田政権への怒りで沸き立つ中、京都大学では歴史的な学生自治会の再建が勝ち取られました！ 京大の全学自治会である同学会の執行部選挙が行われ、総投票数3000超のうち7割以上もの信任率で「原発反対！御用学者を大学から叩き出せ！」を掲げる富山小太郎統一候補が当選したのです。法大における、5月31日の暴処法弾圧裁判「無罪判決」に続く画期的な出来事です。

「今、大学は大資本や国家の食べ物にされているんじゃないのか？『真理の探究』『自由の学風』はどこに行ったのか？」「3・11以降……京都大学でも原子カムラとの癒着が明らかにされてきました」「今や大学は市場原理が適用され、金もうけの道具にされています。さらには、真理を発信するという大学の権威が金で買われ、社会に害悪をもたらしています。こんな大学の現状をどうにか変えたい」（富山統一候補アピールより）

——この思いは、京大だけでなく日本中の大学の学生に共通するものではないでしょうか。この法大においても、いまこそ大学を学生の手に取り戻すため、学生の団結体としての学生自治会を甦らせるときが来ています。

学祭規制絶対反対！自由な自主法政祭を取り戻そう！
そして、これまで学生を黙らせるために当局が行ってきた不当処分や学内規則をすべて撤廃させよう！それが可能であることは、京大の闘いがはっきり示しています。

7・16で歴史が動く！
全国大学から仲間とともに代々木公園へ！

今の時代の主導権を握っているのは、決して野田や東電のような連中ではありません。3・11以来、声を上げて立ち上がった私たち民衆こそが、この時代を動かしています。法大、京大、福島大を先頭に全国の大学生もどんどん立ち上がっています。野田政権と原子カムラは、こう

した闘いに追いつめられ、必死に巻き返そうとあがいているにすぎません。

7・16さようなら原発10万人集会は、この怒りを全国から大結集して、首都を席卷する空前の大デモを実現する日です。

現在、欧州では金融危機を契機に巨万の人々が立ち上がり、街頭を埋め尽くす大デモとストライキ闘争の力で、腐敗した政権を次々と打ち倒しています。日本でもこういう闘いが爆発する時代がついにやってきました。

7月16日を期して歴史は動きます。法大から、そして全国大学から仲間を連れて7・16十万人集会に集まろう！

沖縄タイムス

速報

オスプレイ配備「断固阻止」



普天間「早期返還」も要求

宜野湾市民大会で決意

本土において原発再稼働への怒りが巻き起こる中、沖縄では海兵隊輸送機オスプレイの配備と普天間基地固定化に断固反対を掲げる市民大会が、5200人を結集して開催された（上は地元紙号外）。

7・16 さようなら原発 10万人集会

再稼働阻止！ 被曝労働反対！ すべての原発いまずくなくそう！

7月16日(月・祝) 13時～
東京・代々木公園にて

12時半からオープニング・コンサート、13時半からデモ出発
会場へは、JR原宿駅より徒歩5分、同渋谷駅より徒歩10分

【呼びかけ】さようなら原発1000万人アクション
＜内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、
澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔＞



6万人が集まった昨年9月19日の反原発集会(明治公園)